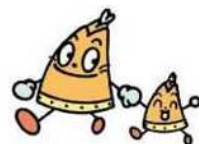


平成30年7月豪雨災害からの 復興に関する意識調査のお願い



1 本調査について

平成30年7月豪雨災害により被災された皆様ならびにご家族の皆様にご心からお見舞い申し上げます。

さて、倉敷市では、皆様が一日も早く安心して真備で暮らしていただけるように全力で復興に向けた取組を進めているところですが、災害から3年を経て、皆様の生活再建状況や課題などをお伺いし、今後の取組を検討するため「アンケート調査」を実施することとしました。

本調査は、平成30年7月豪雨災害で被災された、全壊・大規模半壊・半壊の全世帯主の方あてにお送りしています。お忙しい中、誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に取り扱い、個人情報を開示することはありません。

2 回答に際してのお願い

- (1) できるだけ家族の皆様で話し合って頂いて、別紙のアンケート回答用紙へご記入願います。
- (2) 説明文にしたがって、あてはまる選択肢の番号や人数をご記入願います。
- (3) ご意見に近い選択肢がない場合は、「その他 ()」の選択肢の番号と記入欄へご記入願います。
- (4) 自由記述の場合は、記述欄に自由にご意見をご記入願います。

3 返信方法と回答期限

アンケート回答用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和3年11月30日（火）までに、郵便ポストへ投函願います。

4 問い合わせ先

倉敷市建設局災害復興推進室（担当者：森田・濱田）
〒710-8565 倉敷市西中新田640
電話：086-426-3460
MAIL：reprm@city.kurashiki.okayama.jp

アンケート質問票

質問への回答は、別紙の「アンケート回答用紙」へご記入下さい。

ご自身・世帯のことについて

問1 あなたを含めた世帯の人数は、何人ですか。

問2 あなたの世帯には、以下の方が何人いますか。現在の該当人数を教えてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 未就学児 | 2. 小・中学生 | 3. 15～19歳 |
| 4. 20～64歳 | 5. 65～74歳 | 6. 75歳以上 |

問3 あなたの世帯には、普段の生活で介護・介助が必要な方（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）がいますか。現在の該当人数を教えてください。

- | | | |
|--------|-------|---------|
| 1. いない | 2. 1人 | 3. 2人以上 |
|--------|-------|---------|

問4 あなたの世帯の生計を主に支えている方のご職業を教えてください。

1. 会社員（正規に雇用されている人。団体職員・公務員等も含む）
2. 自営業またはその家族従業者
3. 農業
4. パート・アルバイト・派遣社員
5. 年金生活者
6. その他（ ）

2 住まいのことについて

問5 あなたがお住まいの地域について、(1)～(3)の項目ごとに以下の1～18の中から選んで下さい。

- (1) 平成30年7月豪雨災害時のお住まい
- (2) 仮住まい(避難所を除く、仮設住宅・親戚宅・自宅2階などの場所)
※該当のない方は「18. 該当なし」を選んで下さい
- (3) 現在のお住まい

(倉敷市真備町)

- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 川辺 | 2. 岡田 | 3. 辻田 | 4. 市場 |
| 5. 有井 | 6. 上二万 | 7. 下二万 | 8. 箭田 |
| 9. 尾崎 | 10. 妹 | 11. 服部 | |

(真備地区以外)

- | | | | |
|--------|------------------|----------|--------|
| 12. 倉敷 | 13. 児島 | 14. 玉島 | 15. 水島 |
| 16. 船穂 | 17. 倉敷市外(市町村名:) | 18. 該当なし | |

ここから
選んで下さい

問6 現在、あなたは真備地区に住んでから通算で何年目になりますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年 | 3. 6年～10年 |
| 4. 11年～20年 | 5. 21年～30年 | 6. 31年～40年 |
| 7. 41年～50年 | 8. 51年以上 | |

問7 あなたのお住まいの建物は以下のどれですか。(1)～(3)の項目ごとに以下の1～10の中から選んで下さい。

- (1) 平成30年7月豪雨災害時のお住まい
- (2) 仮住まい(避難所を除く、仮設住宅・親戚宅・自宅2階などの場所)
- (3) 現在のお住まい

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 持家(一戸建て) | 2. 持家(集合住宅) |
| 3. 賃貸住宅(一戸建て) | 4. 賃貸住宅(集合住宅) |
| 5. 市営住宅 | 6. 災害公営住宅 |
| 7. 仮設住宅(建設型) | 8. 仮設住宅(借上型) |
| 9. 借家(親族宅など無償の場合) | 10. その他() |

ここから
選んで下さい

問8 お住まいの建物は何階建てですか。

(1)～(2)の項目ごとに以下の1～3の中から選んで下さい。

※集合住宅の場合は、お住いの階を選んで下さい。

(1) 平成30年7月豪雨災害時のお住まい

(2) 現在のお住まい

1. 1階建て

2. 2階建て

3. 3階建て以上

問9 平成30年7月豪雨災害でのお住まいの建物の被害状況(り災証明書のり災区分)を教えてください。

1. 全壊

2. 大規模半壊

3. 半壊

問10 お住まいの再建方法を教えてください(予定を含む)。

※災害時のお住まいが持家でない方は、選択肢の3, 4, 5, 6の中から選んで下さい。

1. 元の住宅を建て替え

2. 元の住宅を補修

3. 賃貸・借家

4. 別の場所で住宅を建設・購入

5. 検討中

6. その他()

問11 今後の真備地区での居住について教えてください。

※すでに倉敷市外にお住まいの方は、空欄として下さい。

1. ずっと住みたい

2. どちらかというに住みたい

3. 何ともいえない

4. どちらかというに住みたくない

5. 引越しを考えている(具体的な地区名:) ・市町村名:)

3 災害からの復興の現状について

問12 あなたの世帯の生活は、災害前の元の状態に戻ってきていると、どのくらい感じますか。(1)～(12)の項目ごとに以下の1～6の中から選んで下さい。

- (1) 全体
- (2) こころとからだ (例：災害の疲れから回復した)
- (3) 気持ち (例：自分が被災したことをあまり意識しなくなった)
- (4) すまい (例：居住の課題が最終的に解決した)
- (5) 生活 (例：毎日の生活が落ち着いた)
- (6) 教育 (例：子どもの保育・教育の心配がなくなった)
- (7) 福祉・医療 (例：以前のように利用出来るようになった)
- (8) 仕事 (例：なりわいが元に戻った)
- (9) 生きがい (例：趣味や習い事などが出来るようになった)
- (10) 将来の生活 (例：不安がなくなった)
- (11) まちのにぎわい (例：地域行事などが元に戻った)
- (12) 人と地域のつながり (例：家族や地域とのつきあいが元に戻った)

- 1. 感じる(元の状態に戻った)
- 2. やや感じる
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり感じない
- 5. まったく感じない
- 6. 分からない

ここから
選んで下さい

問13 あなたの世帯の生活全体が、災害前の元の状態に戻るのに、どのくらいかかるとおもいますか。

- 1. もう元の状態に戻っている
- 2. あと1年くらい
- 3. あと2～3年くらい
- 4. あと5年以上
- 5. 分からない
- 6. その他()

問 | 4 平成30年7月豪雨災害からの復興の進み具合に新型コロナウイルスの感染拡大が影響していると感じますか。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

4 重視する行政の復興施策について

問 | 5 これまでに行政が取り組んできた復興施策の進み方について(1)～(2)の項目ごとに以下の1～15の中から上位3つまで選んで下さい。 ※特にない場合は、空欄として下さい。

- (1) 進んでいると思う施策
(2) 進んでいないと思う施策

問 | 6 現段階で行政が取り組んでいる復興施策のうち、重視するものについて、以下の1～15の中から上位3つ選んで下さい。

【真備地区の復旧・復興に向けた主要な施策】

1. まちを守る治水対策（小田川合流点付け替え、河川改修など）
2. 身近な緊急避難場所の確保（緊急避難場所の指定や整備など）
3. 災害に強い都市基盤づくり（道路復旧、避難経路や防災拠点の整備など）
4. 地区ごとの防災・減災体制づくり（防災教育、地区防災計画作成の促進など）
5. 行政の災害対応力の強化（防災情報システムの機能強化など）
6. 被災者の生活支援（生活再建に向けた支援、見守り相談支援、心のケアなど）
7. 安定した住まいの確保（仮設住宅や災害公営住宅、リバースモーゲージ型融資などの住まいの再建支援、公費解体など）
8. 暮らしを支える公共施設等の復旧（学校、公民館、真備支所などの復旧）
9. 農業の再興（農地・施設の復旧、持続的な農業経営の支援など）
10. 地域企業の再興（事業所の再建・復興支援、起業家支援など）
11. にぎわいと交流の創出（復興イベントの開催や農業交流などの支援）
12. 豊かな自然と歴史・文化の魅力を発信（復興防災公園の整備、観光振興など）
13. 未来につながるまちづくり（にぎわいや交流の促進に向けた拠点づくりなど）
14. 住民主体のまちづくり（交流機会や団体、人づくりの活動支援）
15. 国・県・市の連携による情報提供（復興の取組みを広報紙などで発信）

ここから
選んで下さい

5 災害への備えについて

問17 自然災害に対して不安を感じていますか。

- 1. 感じる
- 2. やや感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

問18 自然災害のうち、水害に対する備えとして、どのようなことを実行していますか（複数回答可）。

- 1. 自宅付近の水害の危険性を理解している
- 2. 自宅は水害を考慮した住宅になるよう工夫をしている（垂直避難やかさ上げなど）
- 3. 自宅などの水害保険に入っている
- 4. 日頃から、非常食や持ち出し品を準備している
- 5. 避難指示など、避難情報の内容を理解している
- 6. 避難情報はテレビや携帯電話、パソコンから自分で入手できるように、防災ポータルなどを登録している
- 7. 避難情報は、屋外拡声塔から入手するようにしている
- 8. 自宅で避難情報を自動的に入手できるように、緊急告知FMラジオ（こくっち）を所持している
- 9. 避難行動の計画（「いつ」「なにを」すればいいか）を家族で共有している
- 10. 避難時の連絡方法や集合場所などを家族で共有している
- 11. 地域の防災訓練に参加している
- 12. 避難するときに近所の誰に声をかけるか決めている
- 13. 特に何もしていない

問19 いざという時の避難行動について、平成30年7月豪雨災害時と比べて意識が高まっていると感じますか。

- 1. 感じる
- 2. やや感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

問20 社会のなかで、平成30年7月豪雨災害時の記憶が、災害直後と比べて薄れているように感じますか。

1. 感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

問21 災害の記憶や教訓を伝えていくために、必要だと思う取組を以下の1～10の中から3つ選んで下さい。

1. 普段から防災について、子どもと大人が一緒に話し合う
2. 地域で、防災講演会や具体的な避難計画の作成、防災訓練などを行う
3. 子どものころから、学校の防災授業で学ぶ
4. 災害の経験を伝える語り部や支援員などの人材育成
5. 模型・映像などを活用した、わかりやすい情報発信
6. 災害や復興に関する記録や資料の保存、公開
7. 過去に起きた事象や教訓を伝える碑や浸水高の看板などの設置
8. 災害からの節目の式典・イベントの開催
9. 災害からの復興状況や治水対策などを現地体験して学ぶ
10. その他（ ）

6 地域コミュニティの現状について

問22 現在、町内会・自治会の活動に参加していますか。

1. 参加している
2. ある程度参加している
3. あまり参加していない
4. 参加していない

問 2 3 問 2 2 で「3 か 4」を選択された方のみ、回答して下さい。
町内会・自治会の活動に参加していない理由を以下の 1 ～ 11 の
中から 3 つまで選んで下さい。

1. 新型コロナウイルス感染症の影響で十分に活動できないから
2. 参加組織がない（もしくはあることを知らない）から
3. 参加していなくても、必要な人とのつながりがあるから
4. 仲良しの近隣の人たちが戻ってきていないから
5. 近隣の人とかかわることが面倒だから
6. 今後、引越す予定があるから
7. 活動方針が自分の考えと合わないから
8. 自分の世帯の生活は戻ったが、まだ活動が負担であるから
9. 自分の世帯の生活が戻っていないから
10. 元々、参加していなかったから
11. その他（ ）

問 2 4 新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったら、次にあげる町
内会・自治会の活動に参加したいと思いますか。(1) ～ (12)
の項目ごとに以下の 1 ～ 5 の中から選んで下さい。

- (1) 地震や風水害などに備える自主防災活動
- (2) 地域の安全を見守る、防犯・パトロール活動
- (3) ゴミ収集・花植替・清掃などの環境活動
- (4) 高齢者、障がい者などの福祉活動
- (5) 子育て支援に関する活動
- (6) 青少年健全育成に関する活動
- (7) 地区体育祭などのスポーツ活動
- (8) 趣味の活動や文化展などの文化活動
- (9) 歴史、文化の承継活動
- (10) 教育活動など生涯学習に関する活動
- (11) ボランティア等の被災者支援活動
- (12) まちづくりや地域のイベント等の活動

1. 参加したい
2. できれば参加したい
3. どちらともいえない
4. できれば参加したくない
5. 参加したくない

ここから
選んで下さい

問25 町内会・自治会などの地域コミュニティ活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。以下の1～10の中から3つまで選んで下さい。

1. 新型コロナウイルス感染症の収束
2. 活動内容の積極的な広報や周知
3. 地域住民の参加意識の啓発
4. 地域活動リーダーの育成
5. 地域で気軽に集まれる雰囲気づくり
6. 話し合いによる復興に向かう地域課題の共有
7. 子どもや若い世代が活躍する機会や活動の増加
8. 活動手法などを外部団体から学ぶ環境づくり
9. 市からの支援メニューの紹介や情報提供などの機会の増加
10. その他（ ）

7 その他（自由記述）

問26 復興を進めるためにできる住民同士の支え合いについて、どのようなことが必要だと思いますか。地域に対してのご意見等がありましたら記載してください。

（自由記述）例：気軽にはなし相手になる、片付けや草刈りなどの手伝い、など
別紙の回答用紙へ記載してください。

問27 今後の復興に向けた取り組みについて、どのようなことが必要だと思いますか。行政に対してのご意見等がありましたら記載してください。

（自由記述）
別紙の回答用紙へ記載してください。

以上でアンケート調査は終了です。

同封の返信用封筒（切手不要）に、別紙の「アンケート回答用紙」を入れて、令和3年11月30日（火）までに郵便ポストへ投函して下さい。

ご協力ありがとうございました。

アンケート回答用紙

回答に際してのお願い

- (1) 回答にあたっては、できるだけ家族の皆様で話し合ってください、このアンケート回答用紙にご記入願います。
- (2) 回答にあたっては、説明文にしたがって、下の ☐ の中にあてはまる選択肢の番号や人数をご記入願います。
(例. 単数回答の場合⇒ ☐ 問1 ☐ 1 、複数回答の場合⇒ ☐ 問3 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3)
- (3) 自由記述の場合は、記述欄に自由にご意見をご記入願います。

1 ご自身・世帯のことについて

問1		人	←人数で回答して下さい				
問2	未就学児	小・中学生	15～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上	←それぞれの人数で回答して下さい
問3							
問4		その他 ()					

2 住まいのことについて

問5	(1) 災害時		(2) 仮住まい		(3) 現在	
				市町村名 ()		市町村名 ()
問6						
問7	(1) 災害時		(2) 仮住まい		(3) 現在	
		その他 ()		その他 ()		その他 ()
問8	(1) 災害時		(2) 現在			
問9						
問10		その他 ()				
問11		5. の場合 (地区名 : ・ 市町村名 :)				

3 災害からの復興の現状について

問12	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	←それぞれに回答して下さい
問13		その他 ()											
問14													

裏面へ続く⇒

4 重視する行政の復興施策について

問15	(1) 進んでいる				←上位3つまで選んで下さい
	(2) 進んでいない				
問16	重視するもの				←上位3つ選んで下さい

5 災害への備えについて

問17															
問18															←複数回答して下さい
問19															
問20															
問21				その他 (		)	←3つ選んで下さい								

6 地域コミュニティの現状について

問22													
問23	※問22で「3」か「4」を選択された方のみ回答して下さい												←3つまで選んで下さい
				その他 (		)							
問24	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	←それぞれに回答して下さい
問25				その他 (		)	←3つまで選んで下さい						

7 その他 (自由記述)

問26	(地域に対して)
問27	(行政に対して)

以上でアンケート調査は終了です。
 このアンケート用紙を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて
 令和3年11月30日(火)までに郵便ポストへ投函願います。
 ご協力ありがとうございました。

